

SSKS

社会福祉法人結の会

オフィス クローバー



o f f i c e c l o v e r

ニュース

2023年

アツアツおでんを頬張る 冬号



目 次

(オフィス クローバーのページ)

忘年会月間／共同バザール／ブラインド清掃・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2

所外作業現場見学会／「新宿フレンズ」講演会・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3

《特集》

『利用者による実習指導のご紹介』・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 4～5

(社会福祉法人結の会のページ)

フードパントリー／新宿区内社会福祉法人連絡会／第3回理事会報告・・・・・・・・ P 6

《読み物》『私の正月の過ごし方』・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 7

投稿作品／主な予定／編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 8

～ 次号は2023年4月に発行予定です。お楽しみに！！ ～

オフィス クローバーのページ

忘年会月間

一般就労にまだ自信を持ってない精神障害者を対象に、働く場を提供し、能力向上などの必要な訓練を行うところです。

今年の忘年会も感染拡大防止の観点から会食形式は控え、12月を『忘年会月間』と称して1年の振り返りを付箋に書いて掲示をしたり、お菓子の詰め合わせでクリスマス気分を味わったり、ひもクジでちょっぴり童心に戻りながら令和4年最後の運試しをして盛り上がり、1カ月に渡って皆さんと楽しむことができました♪
(坂本)



やった～！当たった！

今年の忘年会月間で食料品が当たりました。今回もハズレかなと思っていたのですが、何と当たったではありませんか！嬉しい事です。でも俺なんか当たって良いのでしょうか！ハズレた方ごめんなさいです。(Touch)



共同バザール



バザール、盛況でした！

12月6日、7日に新宿駅西口の催事会場で3年ぶりの共同バザールが開催され、当施設からは職員6名、利用者4名でシフトを組んで販売しました。コロナ禍という事もありステージでの発表はなく、作品展示・販売会のみで開催でした。沢山の皆様から手に取っていただき、2日間で75,000円の売上になりました。寒い中でしたが、お客様から商品を「かわいい！」と褒めていただいたり、購入してもらえたりして、喜びを感じながら楽しく販売ができました。
(渡邊)

ブラインド清掃



12月13日、20日に東京都教育相談センターでブラインド清掃作業を行いました。利用者3名、職員1名で2日間に分けて10部屋のブラインドを清掃しました。初めての作業でしたが、声を掛け合いながら協力して作業ができました。
(渡邊)

一見綺麗なブラインドは、拭くと真っ黒で清掃のしがいがありました。効率も良く出来たし、依頼先の方にも綺麗になったと喜んで頂いて、「次はソファのほこり取りを頼むかも」とのことです、お役に立つことができ嬉しかったです。
(F. H)



綺麗にするぞ～

所外作業現場見学会

12月20日～23日に、所外作業現場の見学会を実施しました。利用者が所外の作業にチャレンジできるように参加可能な現場を見学するとともに、新人職員に現場を知ってもらう機会とし、4コース10カ所の現場を合計で13名が見学しました。（松田）

○もいちど倶楽部～スイングコース



もいちど倶楽部にて

私は「もいちど倶楽部」「ベジタブルカフェ」「スイング」のお仕事を見学しました。どのお仕事も障害者福祉センターでのお仕事と同じ様に地域に根差した感じがして、色々な支援サービスを受けさせてもらいながら、地域の中で生きていく感覚を養えそうなところがいいと思いました。「スイング」にはステンシルの製品も売っていました。（いつき）

○ヤマトコース



業務説明を受ける見学者

初めてヤマトに見学に行きました。倉庫のような場だったので、夏は蒸し暑くて、冬場は寒いのもかもしれないと思いました。一番難しいのは番地を覚える事だと思いました。あとは、住所不明で返却された配送物を別の箱に入れなくてはいけないところも難しそうでした。職員がいるので少し安心して取り組む事が出来るとも思いました。（イーグル）

「新宿フレンズ」講演会

1月14日に、新宿区精神障害者家族会「新宿フレンズ」にお招きいただき、利用者2名と職員2名が講演をしました。就労継続支援B型事業の説明と当施設のご紹介、利用者による病の体験談をお話しました。20名ほどの会員の皆様にクイズを出すなど、楽しみながら交流を持つことができました。（松田）

発表は、1週間前からの練習があったこともあり、私は落ち着いて発表する事が出来ました。みなさん真剣に発表を聞いてくれて、質疑応答も、今までの私の体験をお話することで回答出来て、少しはお役に立てたかなと思えました。（おっぽ）



3人が体験談レビュー！

《特集》

利用者による実習指導のご紹介

はじまり

精神保健福祉援助実習及び、看護学生の臨地実習の受け入れ施設として、毎年数十名の実習生を受け入れ、職員が指導にあたっていました。しかし、通常業務の他に実習生の対応をすることは負担が重く、積極的に取り組めずにいました。そんな時、所内の案内や活動紹介、作業の説明は利用者にもできる！と思いつき、一緒に実習指導をやりたい利用者を募り、2019年9月からスタートしました。

実習一日の流れ



おはようございます！



今日の午前中は私が担当します。

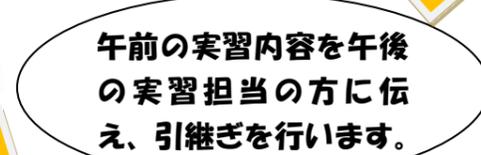


今日の作業内容を説明し、手順などを実習生に伝えます。



休憩時には、利用者との会話を促します。

担当者は9:15に出勤して準備し、実習生を待ちます。事業説明と所内の案内をし、夕方には実習の振り返りを行い、実習生の質問に答えたり、障害者手帳をお見せし、福祉制度の説明をします。要望があれば体験談も話します。



午前の実習内容を午後の実習担当の方に伝え、引継ぎを行います。



仕組み

実習指導者の要件…体験談の発表経験者
シフト…9:15～12:30 12:30～実習終了時間
1日2交替制。4名の実習指導者が毎月シフトを組んで業務にあたる。
工賃…実習謝礼を工賃会計に繰り入れ、経費20%を引いた金額を作業時間によって受け取る。実習指導をしつつ参加する作業の工賃も重複して受け取ることができる。
2022年度実績…4月下旬から翌年2月中旬までの期間、6校59名の学生を受け入れた。工賃収入は318,000円。開所日240日中、96日間受入れた。



夕方には、今日一日の振り返りを行います。

利用者による実習指導を受けて



聖徳大学
嶋田由枝恵先生

オフィス クローバーさんの実習では、学生が笑顔でのびのびと楽しそうに作業をしています。学生たちは、自分のペースに合わせた利用者さんの親切な実習指導に感謝しています。これは、学生たちが患者さんへのケアをする際の大切な学びにもなっています。共に作業をすることで、障がいと共に生きる方々と同じ目線で、社会で協働できる看護師を育てていただいております。

最初は緊張していて不安で一杯でしたが、職員の方も利用者さんも優しく、わからないことがあったら、一から説明してくれるので安心して実習ができました。全員がどの作業に対しても責任をもって仕事をしていて、自分の役割を果たす事の大切さを理解して取り組んでいるのだな、と思いました。（聖徳大学3年 I.M）

実習指導に参加して

初めの頃は、何からどう伝えて指導してよいかわからず悩みました。徐々に慣れていき、実習生が様々な気づきを得て成長される姿を見てやりがいを感じるようになりました。今では、とても楽しい仕事になっています。（和泉成俊）



実習を通して、作業所に通っている障害者が普通の人間と変わらないと感じ取ってくれると嬉しいです。一日の振り返りで「楽しかった！」と仰ってくださいると、実習指導者としてやりがいを感じます。（松井和子）

社会福祉法人結の会のページ

オフィス クローバーを経営する
社会福祉法人の本部です。

フードパントリー



12月11日、今年度2回目となる新宿区内社会福祉法人連絡会主催のフードパントリーが、新宿区社会福祉協議会と新宿区立障害者福祉センターの2カ所で開催されました。クリスマス一色の会場にはサンタさんも登場して、子供たちが大喜びでした。民生委員、施設利用者等の協力で130世帯のお申込み中114世帯に、無事配布できました。物価高騰が直撃する子育て世代への一助となり、また悩みを抱えている方からの相談を受け止めるなど、継続していく意義の大きさを感じた一日でした。（友利）

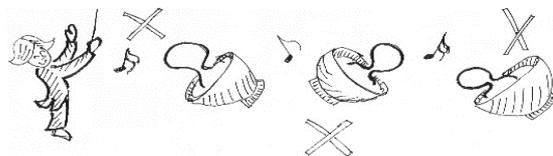


サンタさんも登場！

新宿区内社会福祉法人連絡会

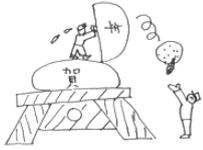
10月26日、当連絡会の今年度2回目の定例会がリモートで開催されました。活動内容を確認した他、「今後の連絡会の発展について」と題して各法人との情報交換をしました。また、11月8日にはオンラインサロンが開催されて、当法人からも職員1名が参加。他分野の施設職員等と意見交換できたことは悩みを共有した安心感となり、横のつながりが広がるいい機会となりました。（友利）

第3回理事会報告



1月19日に2022年度第3回理事会がリモートと対面のハイブリッドで開催されました。議案は2件で、「第1号議案 虐待防止等対策委員会規程改訂の件」は、虐待防止の他に感染症対策についても委員会で話し合えるように規程を改訂し、「第2号議案 雇用契約の締結について」は、再雇用職員の雇用契約内容について審議を行いました。当法人にとって定年退職を迎える職員が、再雇用となる初めてのケースで、今後の一つの基準となる雇用内容であるため、慎重に話し合いました。審議の結果、議案の通り可決されました。その後、参加者で近況報告を行いました。（松田）

読み物



『私の正月の過ごし方』



オフィス クローバーがお休みになる年末年始に、利用者がどの様に過ごしているのかを聞いてみました。家族内の習わしや毎年恒例の行動など、皆さんどう過ごしますか～？（※年末に聞いています）

●毎年、初詣に出かけておみくじを引いています。その結果、何と凶が出てしまったことがありました。その年の前半は何もなく過しましたが、夏に悲劇が起こってしまいました。足が神経痛になり、大変な思いをしてしまったのです。オフィス クローバーにも迷惑をかけてしまいすまない思いでいっぱいでした。まさに凶に匹敵する出来事でした。それからは順調な日々が続き安心しています。2023年こそ良い年でありますように願っています。さて神様、仏様は、私にどのような判決を下すか？2023年の運命が決まる幸いです。もし凶と出ても覚悟して、またおみくじを引いてみたいと思います。ああ、どうか天よ大吉が出るように！（紅の侍）

■私は、毎年三が日恒例で銭湯に行きます。通常営業の銭湯ではなく、三が日限定の朝風呂です。なぜ朝風呂に毎年行っているかと言うと、気持ち良く新年を感じられ、おじいちゃん達と会話出来、たくさんの人と新年の挨拶ができるのと、干支のセッケンもらえるからです。三が日に1回行くだけでなく、朝風呂といつもの15時ごろの時間帯も合わせて最低でも三回は行きます。干支セッケンは、毎年三個程もらい、コレクションとするもの、使ってしまうものと分けています。干支の形のセッケンなので置き物としても使える所が魅力です。そして2023年、私は年男なのでうさぎの干支セッケンはぜひほしいです。これが私の恒例の正月です。（M.石崎）

匿名の方からお菓子の 寄付をいただきました。

段ボールに、スナック菓子のアラカルトが入っていて、「クリスマスプレゼント」と書かれていました。みんなで美味しくいただきました。ありがとうございました！



《投稿作品》

『未来』

僕らはどこに行くのだろう
それは誰にもわからない

淑行

ただ知れるのは

僕らはひたすら前に向かって

進んで行くこと

ひたすらけなげに

生きるということ

星宿に向って問いかける

見えない流れ星に向って

夜空は果てしなく暗い

探り当てるすべもなく

手を差しのべるわたし

停めどもない時の流れに

銀河の流れを重ねるとき

わたしたちに語りかけるであろう

星宿のまたたきが



《主な予定》

3月 所内作業ミーティング
3月16日 第4回理事会

※毎月25日は工賃日です。印鑑をお忘れなく!

《編集後記》

2019年よりスタートした、利用者による実習指導がやっと軌道に乗ってきて、皆様に特集ページでご紹介することができました。当事者が学生に対し、自分の口で、自分たちとどのように接してどんな言葉をかけてほしいのかを伝えます。学生にとっては、聞きたいけれど聞きにくい病気のことを、指導の一環として利用者に語ってもらえます。学生、利用者、職員にとっても、得るものが多いと感じています。（松田）

オフィス クローバー 〒169-0075 新宿区高田馬場 3-18-25 第1康洋ビル 7階 TEL 03-3365-4177 FAX 03-3365-4178 E-mail yuinokai@axel.ocn.ne.jp http://yuinokai-clover.com/	編集：淑行・和泉 仁科・松田 イラスト：淑行 入力・印刷・発送： オフィス クローバー	発行所 〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷 3-1-17 ヴェルトゥーラ祖師谷 102号室 特定非営利活動法人 障害者団体定期刊行物協会 定価 150円
--	---	---